



カモノハシのイコちゃん

### オリジナル ICOCA カードを作成

中嶋市長 市も、利用者の増加につなげようと、貴社が発行されるICOCAのオリジナルカードを作成しました。図柄は「忍者」をモチーフにしており、子育て世帯などにお配りする予定をしています。市外の方や観光に訪れる皆さんにも話題になれば、と思っています。

岩崎支社長 甲賀市様にはオリジナルICOCAをご購入していただき、誠にありがとうございます。忍者がとてもかわいらしいデザインですね。甲賀市民の皆様には、このICOCAを利



▲今年度作成した甲賀市オリジナルICOCAカード

用して、今まで以上に草津線をご利用いただきたいと思えます。

### まちづくりに 欠かせない 鉄道インフラ

中嶋市長 私は、市政を進める上で、公共交通は非常に重要な位置付けをしています。特に鉄道インフラの有無は、まちの元気そのものに跳ね返ってくると思っています。市の第三セクターである信楽高原鉄道が3年前致命的な台風被害を受けた時、そのことを強く実感しました。存続に向けた復旧は簡単なことではありませんでしたが、国や県へ直接お願いにあがり、また、貴社からのお力添えをいただき、市民の熱意をご理解いただいた結果だと思えます。自動車社会になり、国道1号や新名神高速道路が整備されても、鉄道がなくなれば、と想像すると甲賀市の将来に暗い影を見るような気がします。

岩崎支社長 平成25年9月の台風被害で運休していた信楽高原鉄道様が、平成26年11月に運行再開となった際、沿線住民の皆様

は「忍者」という素晴らしいコンテンツをお持ちですので、これをさらに磨き上げることが重要だと思えます。弊社は「西Navi」などの観光情報誌を作成し、京阪神の主要駅で配布していますので、このような媒体もうまく活用していただければと思います。

### 草津線の活性めざし 互いに連携を

中嶋市長 時代は、人口減少や高齢化などの課題を抱えています。地域間競争もさらに激しくなっています。その中で、「住みやすさ」を実感し、選んでもらえるまちづくりにしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますが、草津線はまちの魅力を増やしても過言ではありません。土地



▲記者会見を行う JR 西日本京都支社岩崎支社長（中央）、中嶋市長（左）、三日月知事（右）

利用規制の見直しによる草津線沿線のまちづくり施策に取り組みでまいりますので貴社からもさまざまなアイデアやアドバイスをいただければと願っています。これからも甲賀市発展のため、また、草津線活性のため、何とぞお力添えをいただきますよう、お願いいたします。



▲平成30年春に市内の各JR駅でIC化がスタートする(現在の甲賀駅の改札口)

### 忍者を生かした企画で集客を狙いたい

中嶋市長 私は、今回のICOCAエリア拡大を機に、鉄道利

用者をもっと増やしていかなければならないと考えています。その一つは、市のコミュニティバスとの連携です。市内を鉄道とバスを利用して気軽に出入りできる路線に向けた見直しを現在行っています。ご高齢者だけでなく、お子様連れのお出かけや日常の買い物でも不自由を感じない公共交通をめざして知恵を絞っています。

岩崎支社長 甲賀市様のエリアでは、「はーとバス」や「あいく



▲対談する岩崎支社長と中嶋市長

し合い、それぞれの役割を理解し、持続可能性のある施策を実現していきたいと思っております。引き続きよろしく申し上げます。本日はありがとうございます。

### 「ICOCA」とは

「ICOCA」は切符の機能をICカードにプラスしたカードです。改札機にタッチするだけで乗車区間の運賃を精算することができます。

るバス」等、コミュニティバスのネットワークが充実しており、市民の皆様の日常の移動手段が確保されていると思えます。さらに貴生川駅は近江鉄道、信楽高原鉄道との乗換駅でもあり、甲賀市の公共交通の中心的な役割を担っていると認識しています。公共交通同士のネットワーク機能がさらに充実すれば、マイカーに過度に依存することのないまちづくりが可能だと思えます。

また、地域の魅力ある観光資源に関する情報を発信し、広域から観光客を誘致することも重要です。その面では、甲賀市様